

胃内視鏡検査同意書

※ 来院時にこの用紙を受付に渡してください

1. 胃内視鏡検査の方法について

この検査は内視鏡を口または鼻から挿入し 食道～胃～十二指腸 の内部を内視鏡の先端に組み込まれた超小型カメラを通してモニター画面で確認します。

観察中に病変（ポリープ、潰瘍、腫瘍など）が見つかった場合には、それらの一部を取り組織の検査を行うことがあります。

2. 偶発症について

検査において、偶発症が発生する頻度は、胃内視鏡検査では10万件中65件と全国調査により報告されています。（鼻出血など軽微なものを除く。）ごくまれに死亡の可能性もあります。可能性のある偶発症

1) 胃内視鏡により粘膜に傷がつくことや、出血、穿孔（穴があくこと）

2) 生検による出血、穿孔

3) 薬剤によるアレルギー（呼吸困難、血圧低下など）

4) 検査前からあった疾患の悪化（症状が出ていなかった疾患も含む）

なお当施設では偶発症防止のために十分な注意を払うとともに、偶発症が発生した場合には最善の対応をいたします。

3. 注意点について

偶発症を予防するために下記の項目に当てはまる方は事前にお申し出ください。

1) 歯科治療や局所麻酔などでアレルギー症状が出た

2) アルコールでアレルギー症状が出た

3) 心臓病（心筋梗塞、不整脈など）、前立腺肥大症、緑内障

4) 鼻疾患

5) 抗凝固剤（ワルファリン、リクヌス、リクソア、ワファリンなど）、抗血小板剤（プラビックス、イパデールなど）を服用している

6) 現在治療中の病気のある方、また過去に入院、治療歴のある方。

*上記5)、6)に該当する方は、検査予約時に薬の服用法について、医師から説明を受け、必ず服用法を守ってください。

4. 質問の機会について

説明された内容についてわからないことがある場合は、ご遠慮なく質問してください。

同意書をいただいたあとでも、質問することができます。

5. キャンセルについて

キャンセルは前日までにご連絡ください。当日のキャンセルにつきましては衛生材料等の費用として1000円申し受けます。

令和 年 月 日

担当医 印

私は、食道・胃・十二指腸内視鏡検査について、必要性和その内容、これに伴う危険性について説明を受け理解しました。

また実施中に緊急処置を行う必要性が生じた場合には、適宜処置することについても併せて

同意します

同意しません

医療法人社団恒雅会 吉井医院 殿

年 月 日

患者（代筆者）住所

患者（代筆者）氏名

（代筆者の場合、患者との続柄： ）



吉井医院
YOSHII medical office

〒104-0041

東京都中央区新富1-5-14

TEL: 03 (3551) 2032

経 □

御 名 前

様

胃内視鏡検査予約票

予 約 日

年 月 日 () 9:00 9:15

検査について

- 検査前日の夕食は午後8時までによく噛んでお取り下さい。水・お茶は飲料可です。
※(夕飯にこんにゃく・海藻・きのこ類は避け、乳製品は絶対禁止です。)
- 当日は来院までの間に水か白湯をペットボトル1本(500ml)程度お飲みください。
(脱水症状防止、胃をきれいにする目的があります。)
- 朝に高血圧の薬を服用されている方は、朝7時までに服用してください。
その他の薬を常用されている方は、ご相談ください。
- 検査当日は麻酔や薬の影響のため、運転は危険です。
自動車・バイク・自転車で来院しないでください。
- 病理組織検査を行った場合の注意事項は、検査終了後にお伝えいたします。
- 検査日時の変更や検査時間に遅れる場合は、当院へご連絡ください。

※ 区民健診として胃内視鏡検査を受けられる方は、受診券・保険証を忘れずにお持ちください。



吉井医院
YOSHII medical office

〒104-0041

東京都中央区新富1-5-14

TEL: 03 (3551) 2032

内視鏡検査時鎮静剤投与の同意書

医療法人社団恒雅会吉井医院

鎮静剤について

鎮静剤使用では、下に説明するように検査中の偶発症(起こることは少ないが本来起こって欲しくない、患者さんの不利益となること)の危険性が増える可能性があります。

検査時の苦痛が強く、鎮静剤使用を希望される方は、下記の説明を読んで、危険性を理解して、署名していただければ、末梢静脈ルート確保のうえ、鎮静剤を使用し、検査にのぞんでいただけます。

1 鎮静剤投与の偶発症(合併症・副作用)

血圧低下、不整脈、呼吸抑制、低酸素血症、呼吸停止などが起こりえます。これら以外にも予期しない偶発症が起こりえます。

これらの偶発症が起きた場合、最善の処置を行うよう努力しますが、入院・点滴・薬剤投与・酸素投与・気管内挿管・蘇生処置などが必要になることがあります。

2010年発表の消化器内視鏡学会による最新の全国調査(2003-2007年)では鎮静剤投与による偶発症発生率 0.0013%(8万分の1) 死亡率 0.000024%(400万分の1)と報告されています。※元々の体の状態によっては(血圧が低い、肺・心臓疾患の病状が深刻、などの場合)、医師の判断により、鎮静剤投与ができないことがあります。

2 鎮静剤投与後に注意すること

目が覚めた後も薬の影響が残ることがあり、眠気やふらつきが生じることがあるので、検査後約1時間は病院で休んでいただく必要があります。また当日は、自動車やバイク、自転車などの運転はできません。また、危険を伴う仕事をすることもできません。

私(患者)は、鎮静剤投与の説明を読み、納得したうえで、内視鏡時に鎮静剤投与を受けることを希望します。また、検査中・後に緊急処置を行う必要が生じた場合には適宜処置を受けることに同意します。また、当日は自動車・バイク・自転車などの運転は行いません。危険を伴う仕事も行いません。

____年 ____月 ____日

患者あるいは代理人(続柄 _____)氏名(_____)